

index

2021 (第25号)

- 医師連盟委員長挨拶
- 兵庫県医師連盟定時委員会議決事項
- 兵庫県知事選挙結果
- 参議院議員 自見はなこ 活動報告
- 議員対談 参議院議員 末松信介氏
- 郡市区医師連盟だより
(神戸市医師連盟北支部・川西市医師連盟)

兵庫県医師連盟ニュース

発行所 兵庫県医師連盟
〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11
Tel 078-231-4114
<http://www.hyogo-ishirenmei.jp>

編集責任者 松本 卓



医師連盟委員長挨拶



兵庫県医師連盟
委員長 松本 卓

場。たばこ議員連盟
のメンバーである。

山口壮氏(1955
生)は相生市の生
まれで東京大学法學
部を卒業後外務省に

自由民主党総裁選挙は決選
投票となり、岸田文雄氏が河野
太郎氏を257票(議員票24
9、都道府県票8)対170票
(議員票131、都道府県票39)
で下し第27代総裁に選出され
た。そして第100代の内閣総
理大臣となり10月4日の組閣で
は兵庫県選挙区からは末松信介
氏(文部科学大臣)、山口壮氏(環
境大臣)のお二人が初入閣と
なった。

末松信介氏(1955生)は
兵庫県議会議員を6期務められ
た後、自由民主党所属の参議院
議員を3期務められ今回初入閣
である。神戸市生まれで関西学
院大学法学部を卒業された後、
全日本空輸(ANA)に入社、
1983年兵庫県議会議員に初
当選。2004年に自民党公認
で兵庫県選挙区から参議院通常
選挙に出馬され初当選され現在
3期目。政策面では第9条を含
む日本国憲法の改正には賛成、
原子力発電に関しては現状必要
だが将来は廃止すべきとの立

入省。新進党小沢一郎幹事長の
誘いを受け1995年に退官。
新進党解党後2000年の衆議
院議員総選挙に無所属で出馬
し、前回敗れた河本三郎氏を下
して当選。長らく民主党に所属
し要職を歴任されたが、「限界
を感じた」と表明し2013年
12月民主党を離脱し、無所属の
まま自民党の二階派に入会。2
014年の衆議院総選挙では無
所属で兵庫12区から出馬し5選
を果たした。2015年1月よ
り自民党会派に入会。1月22日
より入会が認められたが、過去
の経緯から暫定的に兵庫県では
なく二階俊博氏の地元である自
民党和歌山県連の所属となる。
2016年2月より自民党兵庫
県連の所属となった。政策面
では憲法改正、集団的自衛権行使
を禁じる内閣法制局の憲法解釈
の見直しに賛成の立場。
お二人には兵庫県の代表とし
て手腕を発揮されることを祈念
する。
さて岸田総理大臣はさまざま

衆議院を解散(10月14日)、19
日公示、31日投票の日程で選
挙を行う意向を固めたと伝えら
れており、兵庫県医師連盟の各
支部でもすでに候補者の推薦
予定が決定されている。任期満
了後の投票は戦後初であり新型
コロナ禍の中、小規模のタイ
ミングを狙った選挙戦であ
る。衆議院議員選挙は昨年より
予想されていたこともあり各支
部とも準備は整っていると思わ
れるが、推薦候補者としてかり
と政策協定を結んだ上で選挙戦
を戦ってほしい。政策協定の中
にはこれまで主張してきた皆保
険制度の堅持や新型コロナウイルスへの
正しい対応、かかりつけ医を中
心とした質の高い地域医療の拡
充の他に、医師の働き方改革(主
に宿直問題)、ワクチンパス
ポートや陰性確認の慎重な運用
などを盛り込んでいる。
この際、知事選での遺憾は捨
てて一丸となって戦うことをぜ
ひお願いしたい。

兵庫県医師連盟 定時委員会 議決事項

令和3年6月20日(日)に兵
庫県医師会館で開催し、「令和
2年度事業報告」の報告、了承
を受け、また「令和2年度収支
決算」事業について、原案通り
可決した。

兵庫県知事選挙結果

任期満了に伴う兵庫県知事選
は18日投票され、総務官僚出身
で元大阪府財政課長の齋藤元
彦氏(43)＝自民、維新推薦＝

が無所属新人5人による争いを
制し、初当選した。県政史上初
めて自民分裂選挙となったが、
5期20年務めた井戸敏三知事
(75)の後継として、党方針に
反発する自民県議らが支えた前
兵庫県副知事、金沢和夫氏
(65)をかわした。

開票結果 (開票率 98%)

当	855,886	齋藤元彦	無新
	598,099	金沢和夫	無新
	183,393	金田峰生	無新
	139,358	中川暢三	無新
	45,219	服部修	無新

参議院議員 自見はなこ 活動報告

近畿医師会連合会の先生方に
は平素より大変お世話になって
おります。新型コロナウイルス
の感染状況が急速に拡大し、医
療提供体制に大きな負担がか
かっています。流行が広がるデ
ルタ株について、米国CDCの
報告書では、水痘と同程度の強
い感染力とされており、またワ

クチン接種により重症化リスク
は1/10に減るものの、感染
リスクは1/3程度に留まると
されています。こうした状況を
前に、対策のあり方も新たな局
面を迎えたと言えます。

診療の場面では、病勢が強ま
り治療方針の変更を迫られてい
る場合、その客観的な状況を患
者さん本人やご家族としっかり
と共有し、信頼関係の元で、共
に新たな局面での治療に当たっ
ていくということは、我々医療
従事者の共通認識ですが、現下
の新型コロナウイルスの感染状況はそ
ういう状態であり、国会議員は
もとより国民全体で事態を共有
することが非常に重要です。

私の理解は、今は災害時とい
うところの「避難指示」の状態
で、すなわち、今まさに増水し
て浸水している最中なのであ
り、いまダムを作れとか、ある
いは、土嚢を積み上げるとい
う段階は超えており、直ちに垂
直避難してください、「生命
を守る行動をしてください」と
いう段階であると考えます。

病床が不足し、コロナ以外の
病気の方も医療アクセスが制限
されてしまう事態が東京では起
き始めていますので、単にコロ
ナに罹らなければよいという段
階では、既になど私は認識し
ています。ブレイクスルー感染
による医療従事者の感染も増え

て来ています。また現在感染が
拡大していない地域でも感染拡
大が始まると数日以内、1週間
以内で用意した病床や宿泊療養
が満床になりますので、緊張感
が必要です。



ワクチン接種会場で問診を行う自見議員

高齢者以外の世代へのワクチ
ン接種がある一定程度まで行き
渡り、インフルエンザの場合で
言うタミフルのような経口治療
薬が世に出る時に大きく状況が
変わりますが、まだそこまで数
月かかります。国民にも、状
況を丁寧に説明し、自分の命を
守る行動を呼びかける必要があ
ります。国会議員も医療系でな
い議員には、医療の逼迫を伝え
るには、相当な努力を要します。
重症者数や死亡者数などの数字
だけでは伝わらず、具体的な症
例を書き下して幾つも提示する
ことで、現状を伝えていきます。
こうした非常時こそ、先生方
のお声を国に届ける役割の重要性
を痛感しております。引き続き
ご指導ご鞭撻のほど、心よりお
願い申し上げます。



兵庫県医師連盟執行委員
小野市・加東市医師連盟委員長

坂本 泰三

TAIZO SAKAMOTO

参議院議員 (兵庫県)
文部科学大臣

末松 信介

SHINSUKE SUEMATSU

坂本執行委員 (以下 坂本)

末松先生、本日は自民党総裁選真っ只中のお忙しいところお時間をいただきありがとうございます。末松先生は昭和30年神戸市生まれで兵庫県会議員6期、その後兵庫県選出参議院議員3期目にて現在参議院自由民主党国会対策委員長、自民党兵庫県連会長なども歴任されました。

小生とは神戸大学附属明石中学の同級生であり50年来の親友でもあります。中学時代はバレーボール部のエースアタッカーでキャプテンだったと記憶しています。

それでは兵庫県医師連盟推薦の末松参議院議員との議員対談

をよろしくお願いいたします。

末松参議院議員 (以下 末松)

兵庫県医師連盟の皆様には、兵庫県会議員の時から、現在の国会議員活動まで長きにわたりご支援いただきありがとうございます。よろしくお願いいたします。

坂本 先生が政治家を志されたきっかけは？

末松 随分前に、ある友人が50

年前の小学校の文集を持ってきてくれました。将来の夢として「僕は、政治家になりたい。一度きりの人生なら、でっかいことをして、歴史上にのこる政治家になりたい。」と何故か書いていました。そんなことは記憶にありませんでしたが、頭のど

こかにそのことがあったのかも知れません。

坂本 小学生の志しとしては確かに大きいですね

末松 末松信介の信介と言う名は、元兵庫県議会議長の父・三芳が、私が生まれた日の新聞で「岸信介」の記事を見て、これだ！と思ったそうです。私が、政治の世界に入ったきっかけはその「父の存在」でありました。元々、大学卒業後全日空大阪支店で勤務するサラリーマン生活を送っていました。父は当時、垂水区選出の県会議員でした。昭和57年8月その神戸市垂水区が30万人を超える人口増加をし、そのため垂水区が現在の垂水区と西区とに分区され人口8

万人の西区が誕生しました。選挙区の再編に伴い、垂水区選出の私の父は選挙区を故郷の西区とし、垂水区の県会議員候補が空席となりました。当時は公募という仕組みもなく後援会中心の選挙でした。父の後援会幹部から息子さんはどうかとサラリーマンだった私に出馬を促す話がありました。舞子ビラで行われた集会で、最初は「とても自分なんて」と断りましたが、ある幹部に「やる度胸・力量がないのか」と言われ、思わず「そんなことは無い」と自分の意に反し強く反論したことを覚えて

います。今から39年前、私が26

歳9か月の昭和57年9月その日が政治の道に進むきっかけになった人生の岐路であり私の政治への道が始まりました。翌年の昭和58年4月、県議員に初当選させていただき、親子で県会議員誕生と新聞記事にもなりました。その後の5回の県会議員選挙はトップ当選いたしました。

坂本 その後、確か衆議院選挙に立候補されたと思いますが？

末松 平成5年の最後の中選挙区制度で行われた衆議院選挙に無謀にも保守系無所属で立候補しました。6月に小沢一郎さんらの造反で宮沢内閣不信任案が可決されてしまいました。

日本新党、新生党、さきがけといった新党ブームのころで「古きは悪、新しきは善」、出て行ったものが善くて、残ったものは悪い、そんな風潮のさなかでした。その選挙にて次点で人生初めての落選を経験し、政治風土、日本人の考え方、自分自身の甘さ等多くのことを学び貴重な経験をいたしました。

坂本 落選後のバツの無い政治家の時代はいかがでしたか？

末松 2年間の浪人生活は、自分の足で歩く政治、街頭に毎日立つ政治を繰り返していました。そんな平成7年1月17日早朝、神戸市営地下鉄学園都市駅で街頭に立つ準備をしている

時、阪神・淡路大震災が起こりました。荒れ果てた神戸の街を見て「一日も早く人のために汗をかきたい。その汗をかく舞台は問わない。ただ役に立ちたい。」その思いに駆り立てられ、平成7年6月に県会議員選挙に4度(よたび)立候補をし、最高点で復帰させていただきました。

坂本 その後、再度国政を目指した訳ですね

末松 9年後の平成16年に県会議員の先生方のご推薦により参議院選挙に立候補しました。私の力の源は、政治家であった父、兵庫県議会、日本の縮図と言われる兵庫県の地域、地方であります。阪神・淡路大震災を目のあたりにし、多くの世帯が被災し多くの方々が無くなられました。その時政治の無力さと同時に政治の大事さを自覚し、更なる仕組みづくりを求めて国政に挑戦いたしました。

坂本 参議院議員当選後、財務大臣政務官、国土交通副大臣、内閣府副大臣、復興副大臣を歴任し、現在参議院自民党国会対策委員長として活躍中ですがどのような仕事でしょうか？

末松 参議院自民党国会対策委員長として2年間務めました。他に委員長代行、委員長代理、さらに副委員長は11人おり、そのチームで力を合わせて取り組ん

できました。

一つは、予算案や法律案を通すとき、その過程で与野党間の意見が食い違った際には、丁寧に各会派と協議を重ね、解決していきます。いわば、喧嘩の仲裁、喧嘩になる前の筋書きを作るのが役目です。

例えば、「重要施設周辺及び国境離島等における土地等の利用状況の調査及び利用の規制等に関する法律」については6月16日の末明に参議院本会議にて可決・成立しました。夜中の2時半頃までかかりました。外国人が日本の防衛施設周辺の土地、また原子力発電所や国境近くの離島の土地を購入することに対して政府が目光らせる法案でしたが、最終版になると、与野党お互いの政策達成に対する意地とプライドが一気に表面化することがあります。ある共産党の議員も、「この手の法案は時間がかかりますよね」と言っていました。

また、NTTの接待疑惑、総理のご子息の問題など参考人として国会に呼ぶべきか否か、また関係書類の提出、さらには今年3月に名古屋入管にて亡くな

られた不法滞在のスリランカ人女性の問題で廃案となった入管法改正案など、あらゆる問題に対して、現場の委員会で話し合いますが、最終的には各党の国対委員長会談で話し合います。

厚労関係では75歳以上の医療費の窓口負担を年収200万円以上の人を対象に2割に引き上げなどを盛り込んだ、全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法などの一部を改正する法律を与野党間で協議し6月4日に可決しました。

坂本 コロナ感染の自宅療養中に十分な医療も受けられずに亡くなっている現状はすでに医療崩壊していると考えますが、政府はどうお考えなのでしょう？

（三面につづく）



末松信介議員と坂本泰三小野市加東市医師連盟委員長



末松信介議員と坂本泰三小野市・加東市医師連盟委員長

(二面より)

末松 ちょうど総裁選でも盛んに議論が交わされていますが、このコロナ禍で、パンデミックを想定した医療体制にはなっていないことが露呈しました。現場から見れば医療崩壊していたのでしょう。医療関係者のご苦労には敬意をもって感謝申し上げます。未知のウイルス感染症に対する認識が甘かったと言わざるを得ません。こうした感染症が蔓延していった時に、地域の病院で中等症、重症のすべての患者さまが医療を受けられるよう、特に国から体制整備のために様々な支援を平時から受けている国公立病院、国公立大学病院をもっと素早く国の指示で直接動かすべきだったと思いますしコロナ医療において、特に重症病床ではいつ患者が急変するか分からず、医師や専門の看護師の数も多い国公立病院が中心となるべきです。そ

の上で民間病院がサポートできるよう、役割分担を明確にする必要があります。対応出来る仕組み作りを平時に危機管理として行わなければなりません。その為には早急に法整備を行わなければなりませんし、更にスピード感のある丁寧な自治体、医師会との意思疎通が出来る仕組み作りが必要です。一旦このコロナ感染拡大が収まった時に、中立性と客観性を持った第三者機関などで検証すべきです。日本のワクチン行政に対する認識の無さなどに強い反省が求められます。現在、先生方のご努力により、2回目接種が60%に伸びつつあり、心から感謝申し上げます。

坂本 同じ様な質問になります。今回の約1年半の政府のコロナ対策を振り返って、どうお考えですか？

末松 日本は当初から経済状況を見ながら微調整の繰り返し、小刻みな対応を行ってきた。特に、最初の緊急事態宣言を終え、ある程度収まるか、というところでGOTOキャンペーンに執念をもっていた菅総理は、経済の正常化、コロナ感染防止の両立は出来る、との見解でしたが正常化がかき消されてしまいました。

一方で、昨年の税収を見ると、国の2020年度の税収が想定を5兆円超上回り、60兆8216億円になる見通しとなり、18年度の60兆3564億円を抜き、過去最高を更新しました。新型コロナウイルスの影響が懸念されましたが、製造業など一部大企業の業績が好調、また巣ごもり需要で食品スーパーやネット通販、物流が伸び法人税収が伸びましたし、予想に反し倒産件数も少なく、株価も好調でありました。政府の支出を増やすという処方が効いたからではないでしょうか。逆に大きく影響を受けたのは観光、飲食イベント、乗客輸送の鉄道、航空会社などの他、医療の受診控えや、介護や障害者福祉の世界では通所・入所控えが出て経営が逼迫した施設もありました。厚労省の通達行政についても様々なご意見をいただきました。県行政からも、「様々な通知が発出され、内容が変わることもあり、対応が困難だった」と指摘され、「65歳以上の高齢者に早くワクチンを打て、と言われても、ワクチン不足の時の相談体制も十分ではなかった」という話もありました。通知が同時に出て、県、市町と時間差があり、受けた県知事や市町の首長、公的病院や保健所長の意向によっても判断が変わります。それが分かっていて、地域の事情に応じてやってくださ

い、ではなく、危機時だからこそもっと丁寧に対応できるようにしていく必要があります。

西脇市長が上京して要望書を持参されました。地元医師会からは「市長ワクチンを背負って帰ってこい」と言われたそうです。そして三木市長からも強い要望がありました。

また、豊岡市選出の県議が来られ、「65歳以上は7月中に終わると知らされていたのに、市の予約アプリで申し込むと第一回目の接種日が8月22日と通知がきた」という方の話をされました。6月、7月のワクチン不足がなければ第5波も重症化数、死亡者数も抑えられたのではないかと、と医師会からも指摘されましたが、国のコロナ対策分科会等も、実際に今、地域でコロナ患者の診療を行っている人が入らないと、現場と行政で問題点・危機感が分離しているようにも思います。コロナ対策、方針は国が決めた責任をもち、一元的に通達しなければスピード感もなく中身も地方に伝わりません。第6波が来る前に解決していかなければなりません。

坂本 今回の対談後の10月4日岸田内閣にて文部科学大臣に抜擢されました。おめでとうございます。今後の抱負をお願いします。(電話対談)

末松 ドイツのビスマルク宰相の言葉に「その国の未来を知りたければその国の青年を見よ」と言う言葉があります。いかに教育が大切かを訴える鋭い指摘です。私はこの言葉が大変好きです。子どもは国の宝、国の礎です。目に見えない、形の残らない教育への投資の重要性を私たちは忘れてはなりません。

昨今、急速にデジタル化が進む中、小中学生に一人一台ずつの端末を配布しております。ICT教育への取り組みなど、激しい社会の変化をしっかりと見詰めなければなりません。

そして、子ども達一人一人の能力、特性をいかしたオーダーメイドの教育の在り方も検討しながら職責をはたして参りたいと思います。

坂本 4時間も時間をいただき

ありがとうございます。先生の40年間もの政治家としてのご苦労に感謝し、兵庫県医師連盟として親友として今後もご支援させていただきます。ますますのご活躍を祈念いたします。

末松 新型コロナウイルス感染症に対する先生方のご協力に心から感謝申し上げます。本日はありがとうございました。

連盟と市行政との関係は円滑であり、北区にとっても現市長は心強い人です。ぜひ3期目も当選し勤めて貰いたいと願っています。

なお、写真は、今年3月の神戸市医師会北部休日急病診療所内覧会テープカットのものです。

(四面につづく)



左から 久元市長、神戸市医師連盟置塩委員長、同入江北支部長、同近藤北支部委員

(三面より) 自民党の総裁選で国政選挙はいつになるか不明ですが、衆議院議員選挙は必ず行われます。北支部は兵庫2区であり、兵庫区、長田区そして西宮北の一部が選挙区です。自公連立の与党で、公明党の赤羽議員の推薦を決めています。他の連盟支部と連携して推薦を統一する考えです。

奥谷議員逝去後、自公連立での議員になってから応援しており、公明党の中でも影響力のある位置で現職の大臣になりました。北支部にとって身近な存在の議員です。地域包括ケアシステムの構築に必要な存在であり、国の政治に直結できるキーパーソンです。

ポストコロナの社会がどう変化するか不明ですが、早く今まで以上に安心で安全な生活が送れるようしなければなりません。この秋の選挙はその点で連携できる人材を選ぶものです。医師連盟の意見を反映できるように行動を起こしたいと考えています。

北支部の歴代の委員長、区の会長は「医療は医学とは違い制度である。国の制度であるため政治で決まる。国民が安心安全な生活をするために適切な医療を継続し、提供するために我々医療人の意見を反映する必要がある。日本の民主主義では、与

党政権の中で我々の意見を反映するための代弁者である議員の票が多数であることが物を言う。そのために連盟がある。」と言われてきました。私も歴代の委員長と同じく、医療を我々の主体性で行うためには政治の場で発言力を持たなければならず、それは何票を集めることが出来るかで決まります。

連盟活動の盛り上がりがないのも現実ですが、地道に会員の身近な存在で会員が望む医療が継続できるための活動を模索していきたいと思っています。(神戸市医師連盟北支部長 入江正一郎)

【川西市医師連盟】

猪名川新町長岡本信司氏当選に際して

前猪名川町長の福田長治氏(74)が4期目に立候補せず退任し11月17日の任期満了を待たず、7月31日で辞職する意向を6月18日表明し町議会議長に辞職願を提出し受理された。これを受け、猪名川町長選挙は令和3年7月18日、兵庫県知事選挙と同日で行われた。選挙結果は有権者数2万5027人投票率54・43%で無所属新人の元町議の岡本信司氏(66)が5822票(得票率43・7%)で前町長路線継承を訴えた宮東豊一氏

(57)を含む他3候補を破って初当選を決めた。町民は変革を求めたという結果と受け止める。任期は7月18日から4年間。同氏は大学卒業後大阪市役所入庁、平成27年3月定年退職まで38年間総務局、環境保健局、健康福祉局などで勤務され、保健分野では保健医療対策課長の経験があり、平成27年10月から猪名川町議会議員を2期務めた。

町長選挙に際し、猪名川町を元気にしたい、町民の声を町政に道の駅移転に反対、町民が安心して暮らせるまちをめざして「ひと、まち、暮らしの3つの元気」の向上のため、10の施策に取り組みと公約した。川西市医師連盟は選挙期間中に岡本信司氏の挨拶を受け、当選後8月19日に生活部部长、生活部主任課健康づくり室長とともに訪問を受け連盟委員長、副委員長を含む執行部4名と面談し、儀礼的挨拶から始まり、医師連盟側からは新型コロナウイルスワクチン集団接種事業、医師会と行政の接点たる各種委員会・協議会、医師会が毎年開催している地域医療フォーラムへの協力の継続要請、町長側からは保健福祉政策への協力要請および町長公約の胃がん予防のために、ピロリ菌検査の導入への協力依頼があった。

「ひと、まち、暮らしの3つ

の元気」の向上のため、10の施策は以下に示す。

◎ひとを元気に！

①子育て支援・定住促進策

猪名川町に住む魅力をアップし、若い世代を呼び込み、活力を維持します。子どもの成長をまち全体で応援し、子育てにかかる経済的負担の軽減や、安心して子育てができる環境整備など、子育て支援や定住促進策に取り組みます。

●段階的に、小学生の給食費の無償化

●幼・小・中学校教育の質を向上し、選ばれるまちへ

②シニア世代にやさしいまちづくり！

人間ドックの助成など健康づくりや介護予防など、健康寿命を延ばし、元気な高齢者の活躍を応援します。医療の確保をはじめ、「地域包括ケアシステム(介護予防、介護など)」の構築や、社会参加・社会貢献の場の充実をめざします。

●胃がん予防のために、ピロリ菌検査の導入

●高齢者施設の整備を積極的に支援

③障がい者の方への支援を充実！

障がいの方の移動支援や就労サポートなど社会参加を促進するとともに、親なき後の支援策に取り組みます。

●児童発達支援センターの早期整備

◎まちを元気に！

④ニュータウンの再生

町内のニュータウンでは、急激な人口減少、少子・高齢化、空き家・空き地の増加、水道施設や道路等の老朽化などが大きな課題となっています。

課題解決に向け、安全・安心・快適な道路整備や中古住宅の流通支援、公共交通対策など、それぞれのニュータウンの特性に応じた様々な対策に取り組みます。

●ニュータウンの再生による人口増加策

●空き家対策(ニュータウン)

⑤農村部の資源を生かした活性化！

低炭素社会に貢献する農作物を育てる農業、森の管理をする林業は持続していくことが大切です。

●農村部の活性化を図るため、農地付き空き家の活用、農村定住コーディネータの設置、空き家バンクの活用、後継者不足への対策などに加え、公共交通の充実や、移住・定住・起業に向けた支援策の整備や土地利用に関する規制緩和などが必要で

す。

また、県と連携し、住民に見えるかたちでの企業の誘致推進をめざすとともに、資源を生か

した活性化などに取り組みます。

●空き家対策(古民家)

●県との連携「地域再生大作戦制度」の活用

⑥観光・交流施策で新たな活力を！

観光資源を有効活用し、賑わいと活力をもたらす人の交流を拡大します。民間企業・団体や住民と連携して、猪名川町の食・観光・自然など、町の魅力を町内外へ発信します。町内にお金が回る仕組みを研究し、稼ぐ力を高めます。

●大野山でのグランピングと鳥獣害対策(ジビエ)

◎暮らしを元気に！

⑦災害に強いまちづくりを！

町内には、土砂災害警戒区域等があり、具体・実践的な周知や避難訓練を実施していくことが求められています。また、国や県と連携しながら砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業をすすめ

ます。

住民の生命・身体・財産を災害から守るため、町や住民・事業者の責務等を明文化した防災・減災条例を制定するなど、防災・減災対策の強化に取り組

みます。

町の課題や取組みを住民からわかりやすく見える仕組みづくりを提案してまいります。住民に手法や進捗状況が見えるよう取り組みます。

●積極的な情報公開とよいねいな聴き取り

●大きな事業に対する住民投票条例の制定

⑨町役場を(町)民の(役)立つ(場)所に！

ごみ屋敷問題や空き家問題など、社会環境の変化や新たな地域の課題に取り組む、広い視野と先見性を持って解決にあたることのできる政策企画力のある職員の養成や体制整備に取り組み、頼りがいのある役場の実現に努力します。

●課題解決策を考える職員の育成

⑩事務事業の選択と集中を！

重点施策を選び、人材や資金などの資源を集中的に投入する、事務事業の「選択と集中」を進め、限られた財源を有効活用し、猪名川町を元気にしていく取り組みを進めます。

また、子どもたちにツケを残さない、身の丈に合った財政運営をめざします。

●新道の駅移転整備事業の凍結とアイデア募集

●行財政改革(町長給与のカット・退職金もカット)

(川西市医師連盟 織田行雄)